

JANOG42 Meeting 参加レポート

山形大学 工学部 1年
横澤 優太

0. はじめに

私は今回 JANOG42 Meeting に若者支援プログラムを利用して参加した。私が大学生としてイベントに参加するのは初めてであり戸惑うこともあったが、学ぶことも多く、3日間を楽しんで終えることができた。このレポートでは私が JANOG Meeting に参加して得た感想や印象的だったプログラムなどについて述べていく。

1. JANOG Meeting に参加して得たこと・今後やりたいこと

プログラムを見ていく中で、私自身のインターネットに関する知識が全く足りていないことが分かった。今回聞いていて分からなかったプログラムの内容が理解できるようになるためにインターネットに関する知識を深く学んでいきたい。そのためには実践を通し多くの失敗を経験することが必要であるという話を2日目の懇親会で聞くことができた。自分のサーバを持つなど、個人で可能な範囲からインターネットに触れ、学習していきたい。

2. JANOG Meeting で印象に残ったプログラムとその感想

今回の JANOG Meeting では3日目の「あなたの IPv4 アドレス、狙われていませんか？」が印象に残った。IPv4 アドレスの在庫状況や IPv4 アドレスがどのように管理されているかなど、普段気にしてこなかったことについて知ることができ、楽しむことができた。偽造された申請書類で、実際に IPv4 アドレスが不正に他の組織に移転されそうになった例など、この場でしか聞けないような話をしていたことも印象的だった。

3. JANOG Meeting に参加した全般的な感想

私は JANOG Meeting に参加するのは初めてであり、どのような雰囲気のものか分からず、少し緊張していた。しかし、考えていたよりも柔らかい雰囲気プログラムが多く、安心した。プログラムの内容が難しく、あまり理解はできなかったが、1日目の懇親パーティや2日目の懇親会で自分の分からなかった点を周りの人に聞くことで自分だけで調べるよりも深い理解ができた。参加者がマイクを取り、議論ができる点、参加者の声を聴き、プログラムの日数など意見を毎回少しずつ取り入れている点、毎回会場が変わるにも拘わらず円滑にプログラム進行をしている点、ハッカソン

など新しい企画を積極的に取り入れている点などが魅力的に感じた。今回利用した若者支援プログラムは JANOG Meeting に参加したくてもお金がないという人や、自分のように興味はあるが参加する決心がつかない人にとっては背中を後押しする良いものだと感じたため、これからも続けてほしい。

4. おわりに

今回 JANOG Meeting に参加して自分の知識不足を強く実感した。しかし、実際に参加しなければ得られなかった経験も多く、貴重な体験をすることができた。自分でできる実践を通してインターネットに関する基礎知識を身に付け、もう一度 JANOG Meeting に参加したい。最後に、貴重な機会を与えてくれた JANOG Meeting と若者支援プログラム、それらに関わる人たちに感謝したい。